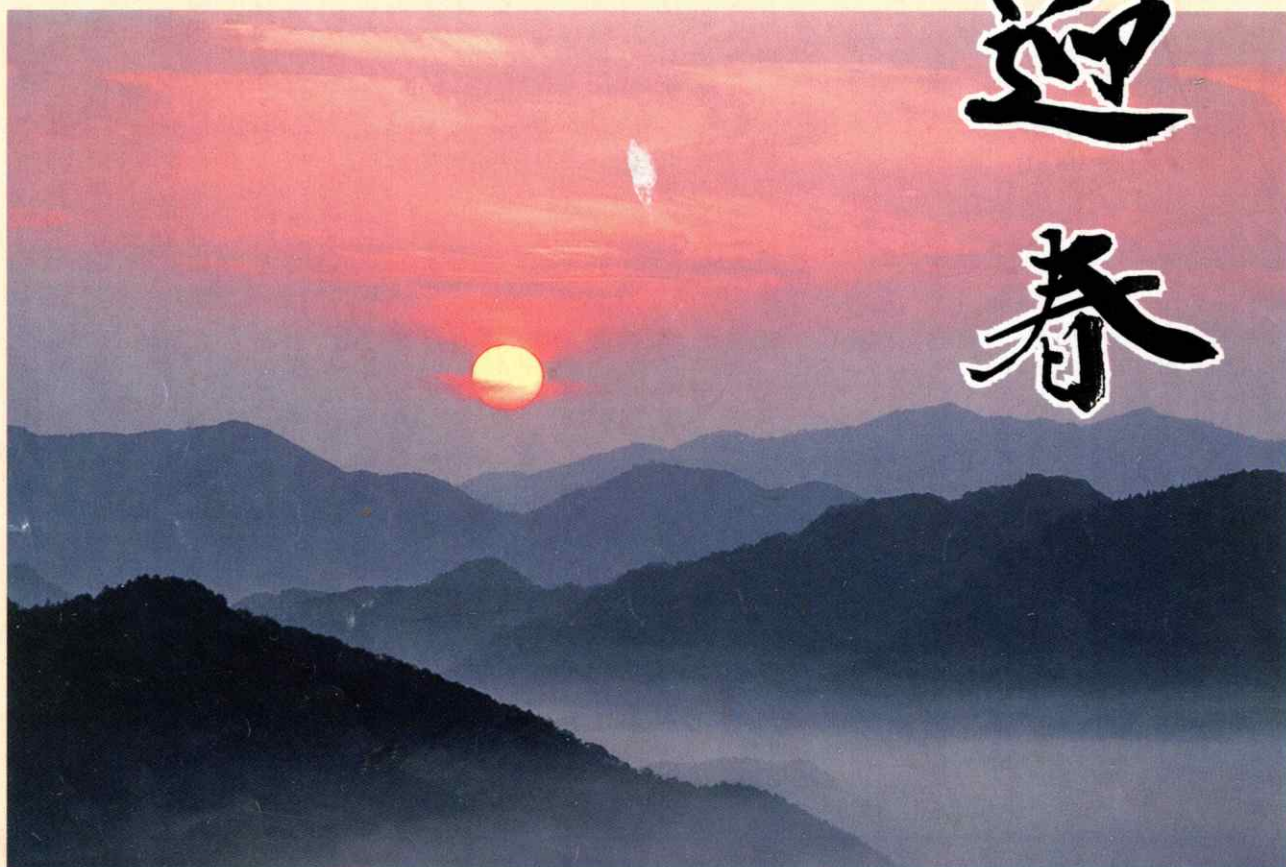


夜久野自治会だより

平成18年度

第3号
新春号

迎春



〔田倉山（宝山）から望む朝日〕

おもな内容

新年のごあいさつ……………	2
第1回自治会臨時総会報告……………	2
デジタル放送について……………	3
「市長と語ろうふれあいミーティング」 を振り返って……………	4・5
「ふれあいいいきフェスタ」……	6
小・中学校学習発表会……………	7
まちかどフォト……………	8
新しい福知山市になって……………	9
駐在所さんから・まごころ銀行……	10

（写真提供 荻野 健次郎 氏）

日置在住 写真家

第17回全国健康福祉祭ねりんピック 厚生大臣賞受賞

第20回国民文化祭ふく、2005 国民文化祭実行委員長賞受賞

舞鶴市展・豊岡市展依頼作家

新年のごあいさつ

夜久野町連合自治会 会長 稲垣 司郎

新年明けまして おめでとうございます

皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から連合自治会の活動にご理解とご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、夜久野地域では大きな風水害等の災害もなく推移しましたが、秋には例年のない熊の出没が多く、千原地区では襲われ重傷を負われるという痛ましい事故が起きました。

一日も早い回復をお祈りするところです。国レベルでは景気回復が顕著であると言われながら私たち庶民にはもう一つ実感がわかないまま年を越しました。

また、国際的には海を挟んだ隣国がミサイル発射や核実験を行いイラク等の戦乱も治まらず、大変な一年でもありました。さて、私たちにとりまして昨年は、一市三町が合併して新たな福知山市が発足し、明治維新以来、先人たちが百三十有余年にも及び営々と育み培い確立してきた夜久野としての自治権が無くなった一年でもありました。

そこで、この一年を振り返ってみますと、合併したことによる善し悪しは多々ございますが、端的に云えますことは、旧夜久野町時代とは異なり、夜久野地域が更なる発展をしていくためには、従来のような行政への全面的な依存体質から脱皮して、まず、「私たちのことは私たち自身で考えていかなければならない。」と云うことであります。

このような状況下において、私たち自治会長間では「このままではいけない」との危機意識を持ち、大字の自治会長会並びに全自治会長会で度重なる協議の結果、

幸いに昨年の七月、住民の皆さん方のご理解・ご協力を得、夜久野の自治会の連合組織が立ち上がりました。

当面、旧夜久野町時代との激変をさけ混乱が起これないよう「河川の草刈り」「プールの監視事業」への支援措置、そして「家庭ゴミ収集日カレンダー」の配布など、旧夜久野町時代の事業を引き続き取り組んで参りました。

また、併せて様々な情報を皆様方とともに共有し、出来るだけ皆様方の考えや思いを反映させていくために、今、ご拝読いただいております「夜久野自治会だより」を発刊新春号で第三号したところであります。

今後、連合自治会は、皆様のご意見・ご指導をお受けする中で、行政や公民館活動と連携を密にし、過疎高齢化にあえぐ私たち夜久野の里を、夜久野にしかない自然や文化・伝統を大切に、誰もが安全で安心して住める、心豊かな・ゆつたりとした『夜久野づくり』を目指して頑張つて参ります。

その一環として、現在、特に急ぐものの中から、私たちの生活や安全に直接影響のある「稚児野トンネルの開削工事」や「旧夜久野庁舎の取り壊しと跡地利用」等を行政に強く要望し、早期実現をお願いしているところです。

併せましてテレビのデジタル化に伴う問題について重要な課題として取り組んでまいります。

どうか、皆様方におかれましては今後とも連合自治会へ、なお一層のご理解・ご支援を賜りますとともに、ご家族共々ご健康に充分ご留意され、今年一年が更に飛躍の年でありますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

第一回臨時総会が 開催されました

十一月十九日、「夜久野ふれあいプラザ」で夜久野町自治会長会臨時総会を開催し、規約の一部改正案や十一月までの事業経過・中間決算について提案し、全会一致で承認されました。

《規約の一部改正》

①名称の変更「夜久野町連合自治会」に

②役職名「代議員」を「幹事」に
③役員会「代議員会」を「幹事会」にそれぞれ改正されました

《事業経過、中間決算》

事業報告並びに中間決算については報告通り承認されました。ただし、自治会費の未納については「早急に納入されるよう」指摘がありました。

《その他》

一市三町が合併したことにより「行財政が急激に硬直化」したとして、「第四次行財政改革」を来年度から五年間で大きく見直すという新聞発表に対し、「三町が合併したから悪化したとの表現は誤解を生むものではないか」との意見がだされ、二十一日に開催される「市長と語るふれあいミーティング」に参加される方に、このことについて触れていただくことをお願いしました。

西垣内科医院 院長 西垣 哲哉

☎37-0127 (FAX共用) 夜久野町額田森嶋

訪問看護 ハートケア

TEL 0773-37-0033

市がテレビのデジタル放送対応について説明

昨年の12月12日夜7時30分から「ふれあいプラザ」において、市役所の主催で、「テレビ難視聴対策」等について、説明会が開催されました。

説明会には市役所から高日市長の他、松田企画管理部長、吉田情報推進課長等6名が出席し、当地からは各地域の自治会長さんを始めテレビ共聴組合の役員さん等約50名が出席しました。

説明会は、最初に市長が「当事業は行政が責任を持って行う」旨の挨拶を行い、その後担当の情報推進課長が詳細を説明し、説明終了後質疑応答が行われました。説明内容は、当事業は民営でなく、行政（福知山市）が主体となって全市域にわたって「光ファイバー」を敷設し、テレビの「地上デジタル放送化」に伴う難視聴地域の解消とインターネット等情報の受発信のスピード化、更に「携帯電話」の不感地域の解消を図っていくと云うものでありました。

その主な説明骨子は別枠のとおりです。説明の中で、「この事業の中身は決定されたものではない。皆さんの意見を伺いながら今後の実施方法を決めていきたい。」と言いながら、「受益者負担」という言葉が何度となく繰り返されました。特に私達に身近で直接関係があるテレビの難視聴対策については、当事業の負担金とそれに伴うチューナの設置（既存テレビ使用の場合）又はテレビの新調、更に維持管理費等考えますと高齢の方々や年金生活者にとっては余りにも大きな負担となってまいります。

連合自治会と致しましては、受益者負担として屋内引込み等の経費は止むを得ないが、難視聴地域とそうでない地域の負担の差、又、本来国の施策であり、電気や電話、更に道路、上下水道等と同様、行政がインフラ整備すべきものであると考えており、先進地であるお隣の朝来市と福知山市と同様現在計画中の京丹後市の状況を聞き、調査・研究を行い、又、当地と同様に難視聴地域である三和町や大江町等との協議を行い今後の対応を考えて参りたいと思っております。

なお、当日次のような質疑が出されました。

- 難視聴地域住民の負担が余りにも大きすぎる。合併特例債だけでなく、過疎債、補助金の活用等行政がもっと真剣に責任を持って対応すべきである。
- 共聴組合の組合長として、負担について独居老人世帯や高齢者世帯等住民に対して説明する自信がない。
- 多額の負担を伴うこのような大事業を自治会長会にも事前説明せず、先に新聞発表することは手続的に間違っているのではないか。
- 維持管理費について月千円は高すぎる。5,900世帯で計算すると年7千万円近くになる。何に使うのか。
- 負担金、利用料金の徴収等について、無くなる共聴組合が対応するのはおかしい。
- 同事業の負担が余りにも多すぎる。それぞれの組合が独自に既存の共聴設備を利用して対応することは可能か。
- 負担金・利用料金について誰が監査するのか。

（説明骨子）

- ・ 当事業は福知山市が主体となって行う
- ・ 総事業費は約35億円（合併特例債活用）
- ・ 事業実施期間は平成19年度～平成22年度（平成23年7月アナログ放送停止）
- ・ 放送設備新設（鳥ヶ丘）
- ・ 電波送受信使節新設（FTTH設備方式、センター1ヶ所、サブセンター11ヶ所設置）
* 現在の共聴テレビ受信施設は使用しない
- ・ 難視聴地域は5,900世帯（三和・夜久野・大江・三岳・雲原・六人部等）
- ・ 難視聴地域住民の負担は一世帯当たり15万8千円
- ・ 維持管理費として一世帯当たり月1,000円
- ・ 負担金・利用料金の徴収・納入は地元共聴組合又は地域の代表者をお願いしたい

※ なお、12月20日（水）には上夜久野地区を対象に同様の説明会が行われたことを申し添えます。



地域社会の環境
と自然を守る！



株式会社クリア
京都府福知山市夜久野町額田373番地
TEL (0773)37-0304

「市長と語ろう ふれあいミーティング」開催される！

去る十一月二十一日（火）午後七時三十分から九時三十分まで、夜久野ふれあいプラザにおいて、「平成十八年度、第五回市長と語ろう ふれあいミーティング」が実施されました。

この会が夜久野で開催されますのは、本年度二回目になり、当日は市側から、高日市長、松田企画管理部長、藤田秘書広報課長、事務局職員が、また、一般からは、三十四名が出席して行なわれました。

開会の冒頭に趣旨説明があり、「この場合は、いろいろな問題について皆さんと市長とが話し合う場であつて、決定するといったものではない。また、今後の市政の参考にしていきたい。」との発言があつて、本題

のふれあいミーティングに入っていました。

話し合いの内容は、農業、林業問題、有害鳥獣対策、ふるさと公共事業、少子対策、バス路線問題、除雪、地上波デジタル放送、合併の意義、行政改革、財政問題等々、日ごろから、市民が感じていることについて大変熱く、広範囲な意見が出され、その都度、市長からは、将来展望についての思いを語っていただきました。

紙面の都合上話し合いの内容を全部掲載することは出来ませんが、連合自治会長会として、特に関係の深かったことについて、以下、稲垣会長の発言を中心に掲載して報告とさせていただきます。

財政が硬直化したと受け取れるが如何。

【部長の答弁】『合併による財政の硬直化』とは、職員の給与の増加と負債。

《質問二》

新しい町になって旧一市三町の市民が、一つになる気運をつくる時期に、一部の地域のために財政が厳しくなると云う表現は不適当ではないか？

市民が一つになるときに、旧三町の市民が筋の合わない説明で肩身の狭い思いを

しなくてもいいように配慮すべきではないか！

また、旧夜久野町の場合は、後年度負担が付かない府の振興資金等は合併前に繰上償還し、過疎債のように後年度負担が付く優良な負債を中心に新市へ繰り越した。

従って、さほど金銭的な負担はかけていないと思う。

【部長の答弁】行革について、新しいまちづくりの方針を市民にお知らせする機

十月十七日、福知山市第四次行革推進委員会は『市町合併による急激な財政の硬直化』により、来年度から五カ年計画で、四十七億五千万円削減すると発表された。

このことについて担当部長（松田企画管理部長）に次のことを尋ねました！

《質問一》

(1) 財政硬直化の原因は？

(2) 『市町合併による財政の硬直化』と云う表現は、旧三町が一緒になったことで

“財政の硬直化”は、 旧三町のせい これほんと!!???



総合建設業

株式会社 衣川組

〒629-1312 京都府福知山市夜久野町末718-1

地域とともに歩みます

お気軽にご相談下さい

☎ 0773-37-1155

会を中学校単位にしたい。
旧一市三町の市民が一つ
になって、町づくりをする
決意の表明として考えてい
る。

終わりに、旧夜久野町は
インフラ整備の一環として、
下水道処理施設（集落排水
施設）事業が昨年の十二月
に完了した。旧福知山市は、
これから梅谷地区下流全域
の下排水処理事業の他、分
けても旧市街地の下排水管
改良工事（工事費200万
250億円とも云われてい
る）をやらなくてはならな
いと聞く。これらに係る莫
大な負債は、旧三町の市民
も同じ負担をする事になる。
今や市長を先頭に市民が一
丸となつて難局を乗り切ら
なければならぬとき。市
民の間に対立を生むような
表現や言動は、厳に慎しむ
べきだと訴えました。

ところで皆さん、 次のことを考えてみませんか！

- (1) 旧夜久野町は、合併を想定して平成16、17年度職員の採用ゼロ。
- (2) 旧福知山市は、例年どおり職員採用を実施した。なぜ？
- (3) 職員が増えたのに、なぜ残業が多いのか？
- (4) 旧三町の負債は、主として過疎債が中心で後年度負担がある。
(注1) (注2)
- (5) 旧福知山市の事業（例、駅南開発・三段池周辺整備・市民病院等）
は財政硬直化の原因にはなっていないのか？
- (6) 合併すれば地方交付税がふえます。
(注3)

（注1）《過疎債とは》旧夜久野町のように、人口の著しい減少に伴って活力が低下している地域の活性化を目的として起こす事業について、国から認められている借金。借りたお金の返済は、分割で7割の元金とその利息は国の負担（地方交付税で算入）。残り3割とその利息だけを返せばよい有利な借金です。

（注2）《後年度負担とは》過疎債のように、後から国が返済の一部を肩代わりしてくれる借金のことです。例えば、10億円を過疎債で借りると、7億円とその利息は国が肩代わりしてくれること。

（注3）《地方交付税とは》国では、自治体の規模によって標準的な生活を営むための経費の基準をつくっています。その基礎になるのは、面積・人口・人件費・自治体が管理している道路・学校とかの公共施設等々です。

日本工業規格認定品
石州瓦販売施工

天田瓦店

代表者 塚脇 英雄

夜久野町額田

☎ 37-1025

FAX 37-1025

大成功！ 600人が集う！！ ふれあい いきいき フェスタ 第1回公民館まつり

合併して新しくできた夜久野地域公民館は、ふるさと夜久野の郷づくりと、文化や福祉や地域の絆を深める拠点になるために、様々な団体に参加いただいて、運営協議会を立ち上げました。そして、夜久野のみんなが、集い、交流できる楽しい催しとして「公民館まつり」を実施したいと考えました。その際、昨年まで、人権・文化・福祉・健康をテーマにした「ふれあい いきいき フェスタ」を 続けたいという多くの皆さんの声に応じて、西部保健福祉センターや福知山市社会福祉協議会夜久野支所と力を合わせて、行事を計画することになりました。

準備をすすめるうちに、行事の趣旨に共感された福知山環境会議と福知山市ボランティア連絡協議会夜久野支部、郵便局 などにも加わっていただき、内容もさらに充実してきました。

さらに、「心の教育実践活動発表会」として、保育園・小学校・中学校も舞台発表やパネル展示していただき、文字通り小さい子どもたちからお年寄りまで、参加する地域を挙げた催しとなりました。



前々日と前日の準備には、のべ100名をこえる人が参加。市役所夜久野支所の職員さんにもお世話になりました。



こんなに多くの皆さんの力が集まりました。(「公民館まつり」構成団体・協力団体)

夜久野町連合自治会、夜久野地域公民館、上夜久野地域公民館、中夜久野地域公民館、下夜久野地域公民館、老人クラブ連合会、明正小学校、育英小学校、精華小学校、夜久野中学校、各校PTA、上夜久野保育園、中夜久野保育園、下夜久野保育園、各保護者会、夜久野地区民生児童委員連絡協議会、体育指導委員、夜久野人権教育推進協議会、夜久野町商工会、夜久野町文化協会、スポーツクラブやくの、宇宙少年団夜久野分団、福知山観光協会夜久野支部(以上は、夜久野地域公民館運営協議会構成団体)、福知山市社会福祉協議会夜久野支所、西部保健福祉センター、福知山環境会議、福知山市ボランティア連絡協議会夜久野支部、直見郵便局、中夜久野郵便局、夜久野郵便局、樹の子の会、むつみ会、読み聞かせサークルれんげ畑



誠実は信用の源である
但南建設株式会社

福知山支店 福知山市荒河12-38 TEL. 23-9468
夜久野営業所 福知山市夜久野町額田623-1 TEL. 37-0468

真剣なまなざし

輝く笑顔

小学校・中学校

学習発表会

夜久野の小中学校では、十一月に「学習発表会」が行われ、日頃の成果をしっかりと発表しました。

育英小学校では全校児童五十名一人ひとりが、見に来て頂いた方にく伝わるよう発表の仕方を工夫して生きいきと表現できました。



精華小学校では、全校児童の合唱で開幕、各学年やPTAの皆さんが劇やデジタル紙芝居・合唱など一生懸命練習に励み、しっかりと発表した子ども達の達成感溢れる笑顔が輝いていました。



明正小学校では、表現力の基礎となる「シツカリ声」を出すこと「音読・朗読・暗誦」の発表は好評でした。また、当日の司会進行も児童が主体的に取り組み参観者にお褒めを頂きました。

また、夜久野中学校の特色は「命を大切にする」取組みを実践しており、市保健センターの協力を得ての「沐浴体験学習」「老人養護施設体験学習」などは他校から賞賛を浴びています。夜久野の児童・生徒の竹のような真直ぐな心は市民の宝と言えます。



夜久野中学校では、「丹波漆」の研究や「職場体験学習」「平和」について、学習成果を立派に発表するなど、小学校とは一段異なった学習発表会となりました。



総合建設業

塚田産業株式会社

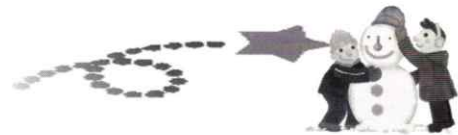
〒629-1314 京都府福知山市夜久野町小倉647
TEL 0773-38-0221

有限
会社

夜久野自動車整備工場

京都府福知山市夜久野町額田1396
TEL 0773-37-0072

まちかどフォト



収穫と交流！

三国まつり



11月19日(日)「農匠の郷」一帯で、「三国まつり」が実施されました。この催しは、昨年まで、「夜久野町農林商工祭」として行われていたものを、新たに、三和、大江、旧福知山市域、京丹後市、朝来市など、近隣の地域の参加も求め、但馬、丹後、丹波の収穫祭という意味を込めて、「三国まつり」と命名されたものです。

会場には、53団体の模擬店や農産物、特産品販売コーナーが設けられ、あいにくの雨天にもかかわらず多くの人が訪れ、大いににぎわいました。

写真は、新企画、「黒豆のお引っ越し」黒豆を箸でつまみ、別の皿に移し替えるゲームです。

祖父母と一緒に餅つき お雑煮おいしかったよ！

下夜久野保育園

12月15日の祖父母参観日に、みんなで育てたもち米や野菜を使って、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に餅つきをして、お雑煮会食をしました。田んぼ作りや畑作りにお世話になった方達も招いて、楽しく交流できました。

臼や杵を見るのも使うのも初めての子ども達がほとんどで、おじいちゃん達にやさしく手解きを受けながら楽しくお餅つきができました。

今後も地域の高齢者の方々や身近な人々と触れあう機会を大切にしていきたいと思います。



地域みんなで汗流し、食べて、語らう。

玄武岩公園清掃 & お疲れさん会

11月26日(日)、中夜久野地域公民館の行事として、小倉玄武岩公園の清掃美化作業をしました。

この清掃作業は、京都府指定文化財である小倉玄武岩公園を地元に住む人の手で美しくしようと、育英小学校と協力しながら9年前から続けられているものです。

子どもからお年寄りまでが、心あわせて、清掃作業に取り組んだあとには、「村おこしおつかれさんまつり」と銘打って、焼きそばや焼きいもや飲み物で疲れをいやし、楽しく語りました。



地域で確かな防災を！

自主防災リーダー講習会

11月5日、ふれあいプラザにおいて、自主防災のための初級講習会が、実施されました。災害が起きたときに、地域で力を合わせて活動をするためのリーダーを育てる講習会です。58人の参加者があり、救出、救援、消火などの実技学習に、熱心にとり組みました。

また、11月には、消防の検閲式があり、福知山消防署から、各地区の消防団の防災体制について、査察・監査・点検を受けました。



(上地区) 11月 5日 出席者81名
(中地区) 11月26日 出席者57名
(下地区) 11月26日 出席者65名

住いのリフォーム、新築、増改築、設備のことは

(株)衣川製材所

福知山市夜久野町額田1406 TEL 0773-37-0036

京都府福知山市夜久野町平野1020番地の1

松崎建設株式会社

TEL 0773-38-0046 FAX 0773-38-1391

新しい 福知山市になって その3



「京都府女性の船に挑戦を」

ことは、春らしい春がそして、秋らしい秋が短かったように思います。これも環境悪化による地球温暖化の所為でしょうか。十一月に入っても街なかでは、ノースリーブの女性を見かけました。

十月に、京都府女性の船福知山市総会が三和荘であり、十一月には、私の乗船した第十一回第五班会を綾部仁王の湯で当番地区として開催しました。久しぶりに府内各地から参加した会員と日頃の活動を報告し交流し合いました。現役で活躍している人、地域活動をしている人達から一杯のエネルギーをもらい翌日は、綾部市内を見学して帰りました。「女性の船」乗船が私の後半生をゆたかにしてくれたと思っています。

旧三町や旧市内からの乗船者は、年々増えていますが「夜久野からの乗船がないのは何故？」とよく質問されます。広い視野を培う場、生涯学習の場として又、社会参画をみがく場として最適な環境です。せつかくのチャンス逃がさず積極的に参加されるようおススメします。

戦後六十年、現在は病んでいると思わざるを得ない事件に遭遇します。他者とのコミュニケーション不足の若者も多くなっています。親や地域の教育力が必要で、わが町やくのを住みよくしていくためにも、一人ひとりが共生のこころを持って前進したいものです。合併新年度、各地区自治会長の皆様この一年間いろいろとご苦労さまでございました。

上地区女性

「自然いつぱいの夜久野！」
わたしは、毎週二回教文グラウンドで

行われているグラウンドゴルフの練習に時間の許すかぎり参加させてもらっています。

春は、桜にはじまり、秋の紅葉の季節と四季折々、移り行く自然をバックに流す汗は何ともいえない爽快な気分です。人々の心を和ませるものを持っています。良い空気を吸いこみながら良い雰囲気の中での中高年齢者のスポーツはなかなか都会では味わえない恵まれた自然環境の中にあると思います。

さて、福天一市三町が合併して「新福知山市」としてスタートし多くの期待と不安を抱きながら一年が経過しましたが、現状はどうでしょうか。

旧夜久野町時代にあった上支所がなくなり、上地域全域及び中地区の一部が住民票その他の手続きに時間がかかり、また、市役所夜久野支所も二ヶ所にわかれ不便になったという声も多く聞かれるところです。

わたしは現在、自分で車を運転し十分に日常の用事は済ますことは出来ますが、将来それがかなわなくなった時の市営バスが存続されているのかどうか？

過疎、高齢化が進行していく中で考えれば考える程不安感が増幅されます。また、各地域公民館、諸団体への補助金町内で開催されるところのイベントの補助金も減額され、結果従来よりも規模を縮小せざるを得ないような事態も心配される声も多くあり、実際、その心配が現実となつていきます。

そのような中で、福知山市民として私たちの故郷、夜久野を切り拓いていくために、種々の意見を集約し、知識と情報を共有できる態勢を営々と築きあげていくことが必要であると感じています。

そして、その核となり得るところが

夜久野自治会であって、その存在に大きな期待を抱き、また応援を今後していかなければならないと思っています。

中地区男性

「今こそ、大同団結を！」

夜久野の里も、いよいよ本年から新福知山市になり、住民も何か都会人の仲間入りをした様な気分です。

たまに、旅行に出かけた時など「どこから来られましたか？」との問いに「京都からです」と答えますと、さらに、「京都のどの辺ですか？」と聞かれ「福知山からです」と言っていたものが、とうとう現実のものとなりました。さて、夜久野町では本年度より新たに夜久野町自治会長が立ち上げられ、住民の様々な問題や、地域での行事に各自治会長のリーダーシップのもとそれぞれが円滑に進行しておりますこと、誠に感謝致しております。

ところで、夜久野は、昔から地理的な面で住民の上、中、下地区の競争意識が強く、今なおそれが根づよく残っていると感じられます。

人間は、どうしても自己中心的で地域の発展のため、狭い考え方で自分の意見を押し通そうとする傾向にあることは、やむをえないと考えます。

しかしながら、これからの夜久野の本当の未来の発展を思うなら、こういった狭い考え方を改め、住民ひとりひとりが意識改革をする中で、夜久野町が一本にまとまっていくなことが大切であると考えております。

ふるさと夜久野の美しい自然、平和な里人として生きて行かれますよう、今後の夜久野自治会長会が益々活躍されることを祈っております。

下地区男性



なんでもそろてる スポンジや
山本産業株式会社

☎629-1322 京都府福知山市夜久野町平野2127
TEL(0773)38-1101(代) FAX(0773)38-1104(代)

TAKAO
株式会社

総合建設業

高尾組

TEL 37-0052

駐在所さんからのお知らせ

◆◆◆ 悪徳商法に注意! ◆◆◆

夜久野町でも親切や善意を装い、一人暮らしの高齢者の預貯金や年金などを狙う悪質商法事犯や、身の覚えのない有料サイトの利用料金などの請求が依然発生しています。

悪質商法の被害にあわないためには、手口に関する知識を持ち、必要のない商品や契約、身に覚えのない請求には毅然とした態度ではっきり断りましょう。

悪徳商法の手口

- 工事商法・点検商法・かたり商法 「屋根が腐食していて危険。工事が必要だ」などと不安感をあおって工事の契約をさせたり、無料点検に来たと訪問し、「布団にダニがいる」「白アリの被害がある」などとだまして布団を売りつけたり、白アリ駆除の契約を結ばせる。
- 資格商法 資格の取得を勧めて、学習教材や書籍を送り付け、受講料等をだまし取る。
- 内職商法 「自宅でできるサイドビジネス」「一日〇時間で月収〇万円可能」などと新聞の売り込み広告やダイレクトメールで募集し、材料費や講習料、登録料を指定口座に振り込ませる。

悪質セールスマン撃退5箇条

- ①何の用? しっかり聞こう身分と用件!
- ②「もうかります」そんな言葉にご用心!
- ③勇気を出し、はっきり言おう「いりません!」
- ④しつこい相手には110番!
- ⑤迷ったら一人で悩まず相談を!



クーリング・オフ制度の基礎知識

- クーリング・オフの制度 契約後であっても、定められた期間内（訪問販売の場合は、8日以内）であれば書面で無条件に申込みの撤回や契約の解除ができる制度です。

クーリング・オフの方法

クーリング・オフの手続き電話ではなく、必ず配達記録郵便や内容証明郵便等で行いましょう

クーリング・オフの期間 ・訪問販売（電話勧誘による契約を含む）

宅地建物取引

8日以内

・投資顧問取引

10日以内

・マルチ商法、内職商法

20日以内

* 訪問販売、マルチ商法、内職商法でクーリング・オフ妨害があった場合、クーリング・オフできる期間の延長があります。

平成19年1月1日から、香典返しについてのはがきを無料とします。
はがきとお知らせ看板の貸し出し及び、まごころ銀行預託の受付、お問い合わせ等は、次のとおりです。

上夜久野地域公民館	38-0165
中夜久野地域公民館	37-0644
下夜久野地域公民館	37-0298

夜久野町の人口は 平成18年9月末日現在

- ☆人口 4,664人（-57人）
（男）2,197人（-23人）
（女）2,467人（-34人）
- ☆世帯数 1,697戸（+31）
（ ）内は去年同期

まごころ銀行 篤志ありがとうございます。	☆平成十八年六月 亡母供養 小林 雄二様（現世）	☆平成十八年九月 亡父供養 藤原 良一様（小倉）	☆平成十八年十月 亡父供養 足立 貞久様（大迫子） 亡父供養 中島 隆博様（才谷）	☆平成十八年十一月 亡叔母供養 中島 邦様（今里） 亡父供養 大江 正邦様（今里） 亡母供養 土井 貴様（今西） 亡母供養 井正 豊様（小倉）
-------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---	---

ふるさと基金

まごころ銀行

編集後記

自治会だより第三号の編集作業は年の瀬の「夜なべ」仕事に。思い思いに來し方を振り返っての話題が飛び交います。やはり「合併」の一年や「命」を巡っての話が中心になりました。

合併（あわせつぎ）は、接穂と台木とが同じ角度に平に削られ、しっかりとくくられないと新しい芽は育たないといわれます。一本の台に三本の接穂（一市三町）、卓越した技と新しい命の誕生への熱い情熱が、市民一人ひとりにわけても行政や議会人に強く求められるところです。

夜久野自治会だよりが、皆さんと共に様々な立場から街づくりの「合わせ鏡」としてお役にたてばと拙い編集に全力。

本誌がお手元に届くころは、皆様新しい年を家族おそろいでお迎えのことと存じます。

表紙の荻野健次郎氏作品「初日の出」のように、明るく希望の持てるよい年となりますよう、共に祈念するところです。

（編集委員一同）